

ロジスティクス管理 3級

平成28年4月

試験範囲

<p>I. ロジスティクス管理の概要</p>	<p>1. 物流の概念と物流管理</p>	<p>(1) 物流の基礎 イ 物流の基礎 ロ 物流とロジスティクス ハ 企業経営とロジスティクス</p> <p>(2) 物流管理の基礎知識 イ 物流管理サイクルの概要 ロ 物流管理の領域</p> <p>(3) 物流と関連組織とのかかわり イ 企業内部門とのかかわり ロ 取引先とのかかわり ハ 業界内関連会社とのかかわり ニ 対外活動等の基礎知識</p> <p>(4) 物流と労働環境 イ 物流における労働力に関する現状 ロ 労働力確保に対する行政の取り組み ハ 企業実務における労働力確保の取り組み</p>	<p>① 物流の基礎 ② 物流の重要性 ③ 物流の機能 ④ 経路から見た物流の種類 ① ロジスティクスの基礎 ② ロジスティクスの使命 ③ 企業経営活動との関連 ④ 経営課題発生化とSCM ① 企業におけるロジスティクス活動 ② ロジスティクス効率化の要素 ③ 流通構造の変化とロジスティクス</p> <p>① 物流サービス ② 物流システム ③ 物流生産性管理 ④ 在庫 ⑤ 物流コスト ⑥ 労務管理 ⑦ 環境対策 ⑧ 生産部門 ② マーケティング・営業部門 ③ 製品開発部門 ④ 財務部門 ⑤ 情報システム部門</p> <p>① 調達先とのかかわり ② 販売先とのかかわり ③ 物流委託先とのかかわり</p> <p>① 労働力の現状と人手不足の実態 ② 労働力の現状 ③ トラックドライバー対策 ④ 食庫作業員 ① 採用の円滑化 ② 定着化の促進等 ③ 労働環境の改善等</p>	<p>① 管理とは ② 物流管理サイクル</p> <p>① 顧客満足と物流サービス ② 物流サービス水準の設定 ③ 指標による管理</p> <p>① 現状提供サービスの明確化 ② 物流サービス水準の設定 ③ 指標による管理</p> <p>① 適合他社調査 ② 社会実態調査 ③ 適合他社比較</p> <p>① 納期 ② 納品の正確性 ③ 貨物品質 ④ 事故防止 ⑤ 印象 ⑥ 環境対応</p> <p>① グラフ ② レポート図 ③ 特性要因図 ④ チェックシート ⑤ 管理図 ⑥ 散布図 ⑦ ヒストグラム</p> <p>① 総合物流施策大綱とその経緯 ② 総合物流施策大綱の目標(施策の方向性)</p> <p>① コンプライアンスの必要性 ② コンプライアンスの物流部門内への徹底 ③ 委託先事業者へのコンプライアンスの徹底</p> <p>① 労働基準法 ② 労働者派遣法 ③ 労働安全衛生法 ④ 消防法 ⑤ 改正下請代金支払遅延等防止法 ⑥ 独占禁止法(物流特殊指定) ⑦ 労働契約法</p> <p>① 道路交通関連法規 ② 道路運送車両法 ③ 道路法 ④ 車両制置令</p> <p>① 貨物自動車運送事業法 ② 運輸安全マネジメント評価制度 ③ 貨物利用運送事業法</p> <p>① 倉庫法 ② 環境等関連法規</p> <p>① 地球温暖化対策関連法規 ② 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法 ③ 廃棄物処理法</p>
<p>2. 物流サービス管理</p>	<p>(1) 物流サービスの基本概念 イ 顧客満足と物流サービス ロ 物流が提供するサービス ハ 物流サービス管理のポイント</p> <p>(2) 物流サービス管理のステップ イ ベンチマーキング ロ 現状分析 ハ 物流サービス水準の設定 ニ 経路とフローマップ</p> <p>(3) 物流における品質管理 イ 物流品質の重要性とその管理のポイント ロ QC7つ道具</p>	<p>① 顧客満足 ② 顧客サービスと物流サービス ③ 顧客サービスと利益</p> <p>① 現状提供サービスの明確化 ② 物流サービス水準の設定 ③ 指標による管理</p> <p>① 適合他社調査 ② 社会実態調査 ③ 適合他社比較</p> <p>① 納期 ② 納品の正確性 ③ 貨物品質 ④ 事故防止 ⑤ 印象 ⑥ 環境対応</p> <p>① グラフ ② レポート図 ③ 特性要因図 ④ チェックシート ⑤ 管理図 ⑥ 散布図 ⑦ ヒストグラム</p>	<p>① 顧客満足 ② 顧客サービスと物流サービス ③ 顧客サービスと利益</p> <p>① 現状提供サービスの明確化 ② 物流サービス水準の設定 ③ 指標による管理</p> <p>① 適合他社調査 ② 社会実態調査 ③ 適合他社比較</p> <p>① 納期 ② 納品の正確性 ③ 貨物品質 ④ 事故防止 ⑤ 印象 ⑥ 環境対応</p> <p>① グラフ ② レポート図 ③ 特性要因図 ④ チェックシート ⑤ 管理図 ⑥ 散布図 ⑦ ヒストグラム</p>	
<p>3. 物流政策と関連法規</p>	<p>(1) わが国の物流政策の動向 イ 総合物流施策大綱 ロ 総合物流施策大綱に係る関係省庁の物流施策 ハ 物流関連法規制の方向性</p> <p>(2) 物流とコンプライアンス イ 法令遵守と物流 ロ 法令の種類と最新内容の入手方法 ハ 公的規制の用語とその意味</p> <p>(3) 物流活動に関わる各種法律の基礎知識 イ 労務・調達関連法規 ロ 道路交通関連法規 ハ 運輸関連法規 ニ 倉庫関連法規 ホ 環境等関連法規</p>	<p>① 総合物流施策大綱 ② 総合物流施策大綱に係る関係省庁の物流施策 ③ 物流関連法規制の方向性</p> <p>① 法令の種類と最新内容の入手方法 ② 公的規制の用語とその意味</p> <p>① 労働基準法 ② 労働者派遣法 ③ 労働安全衛生法 ④ 消防法 ⑤ 改正下請代金支払遅延等防止法 ⑥ 独占禁止法(物流特殊指定) ⑦ 労働契約法</p> <p>① 道路交通関連法規 ② 道路運送車両法 ③ 道路法 ④ 車両制置令</p> <p>① 貨物自動車運送事業法 ② 運輸安全マネジメント評価制度 ③ 貨物利用運送事業法</p> <p>① 倉庫法 ② 環境等関連法規</p>	<p>① 総合物流施策大綱とその経緯 ② 総合物流施策大綱の目標(施策の方向性)</p> <p>① コンプライアンスの必要性 ② コンプライアンスの物流部門内への徹底 ③ 委託先事業者へのコンプライアンスの徹底</p> <p>① 労働基準法 ② 労働者派遣法 ③ 労働安全衛生法 ④ 消防法 ⑤ 改正下請代金支払遅延等防止法 ⑥ 独占禁止法(物流特殊指定) ⑦ 労働契約法</p> <p>① 道路交通関連法規 ② 道路運送車両法 ③ 道路法 ④ 車両制置令</p> <p>① 貨物自動車運送事業法 ② 運輸安全マネジメント評価制度 ③ 貨物利用運送事業法</p> <p>① 地球温暖化対策関連法規 ② 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法 ③ 廃棄物処理法</p>	
<p>II. 在庫・システム・コスト管理の概要</p>	<p>1. 物流システム管理</p>	<p>(1) 物流システムの基礎知識 イ 物流システムを構成する要素機能 ロ 物流ネットワークの概要 ハ 物流拠点の種類と役割 ニ 輸送機関(モード)の種類と特徴 ホ 物流業務のプロセスとフロー ヘ 倉庫の構造とロケーション管理</p> <p>(2) 物流システムの代表例 イ メーカーの物流システム ロ 卸売業の物流システム ハ 小売業の物流システム ニ 特別種合せ便の物流システム</p> <p>(3) 物流データ分析 イ 物流システム検討と物流データ ロ システムデータの分析 ニ 作業分析</p>	<p>① ネットワーク(ノード・リンク)の概念 ② 物流拠点(ノード:node) ③ 輸送経路(リンク:link) ④ 物流ネットワーク ⑤ ハブ&amp;スポークシステム</p> <p>① DC(デистриビューション・センター) ② TC(トランスファー・センター) ③ PC(プロセス・センター) ④ SP(ストックポイント) ⑤ DP(デポまたはデリバリーポイント) ⑥ 公共物流拠点</p> <p>① 倉庫の構造・レイアウト ② ストックロケーションシステム ① 複数領域があるメーカー物流 ② 拠点集約に進む完成品の物流システム ③ 物流コスト負担力の乏しい業界での地域生産・地域販売</p> <p>① 物流機能の強化を進める卸売業 ② 卸売業の基本パターン ③ 一括物流</p> <p>① 宅配から始まった小売物流 ② 量販店の物流システム ③ コンビニエンスストアの物流システム</p>	<p>① ネットワーク(ノード・リンク)の概念 ② 物流拠点(ノード:node) ③ 輸送経路(リンク:link) ④ 物流ネットワーク ⑤ ハブ&amp;スポークシステム</p> <p>① DC(デистриビューション・センター) ② TC(トランスファー・センター) ③ PC(プロセス・センター) ④ SP(ストックポイント) ⑤ DP(デポまたはデリバリーポイント) ⑥ 公共物流拠点</p> <p>① 倉庫の構造・レイアウト ② ストックロケーションシステム ① 複数領域があるメーカー物流 ② 拠点集約に進む完成品の物流システム ③ 物流コスト負担力の乏しい業界での地域生産・地域販売</p> <p>① 物流機能の強化を進める卸売業 ② 卸売業の基本パターン ③ 一括物流</p> <p>① 宅配から始まった小売物流 ② 量販店の物流システム ③ コンビニエンスストアの物流システム</p> <p>① 物流分析の基礎データ ② 物流システム改善案の検討とデータ分析</p> <p>① OD表による輸送量分析 ② 出荷頻度分析</p> <p>① 倉庫内作業の生産性分析 ② 輸送要員分析</p>

試験範囲

		(4) 物流拠点設定	イ 物流拠点の動向 ロ 物流拠点設定の考え方	① 頻繁な見直しが必要される物流拠点設定 ② 物流拠点設定見直しの5原則 ③ 時間指定への対応		
		ハ 拠点立地の設定モデル		① 重心法による立地地点の設定 ② 重心法による拠点2カ所設置の場合の算出手順 ③ 拠点設定の考慮点		
		(5) 委託先管理	イ 委託先管理の範囲と目的 ロ 委託先の選定と契約	① 委託先選定のポイント ② 委託先との契約		
		ハ 委託先の評価と指導	① 評価の方法 ② 委託先の指導			
		ニ 物流子会社	① 物流子会社の概要 ② 物流子会社の種類 ③ 物流子会社の利点と問題点			
		(6) 物流システムの効率化	イ 荷主企業が取り組んでいる物流システム効率化策 ロ 共同配送	① 物流共同化と共同配送 ② 共同配送の種類 ③ 共同配送の阻害要因 ④ 共同配送の進め方 ⑤ 変換する共同配送		
		ハ 物流拠点の集約	① 物流拠点集約による在庫の削減 ② 物流総合効率化法の活用			
		(7) 国際物流	イ 貿易取引の特徴 ロ 代金決済	① 物流における貿易の特徴 ② 商取引における貿易の特徴 ③ L/C決済 ④ D/P・D/A決済 ⑤ 送金決済 ⑥ 代金決済方法とリスク		
		ハ 船荷証券(B/L) ニ 貿易のしくみと物流	① L/C決済における取引の流れ ② D/P・D/A決済における取引の流れ ③ 送金決済における取引の流れ			
		ホ 荷主と物流事業者との関係	① 自口運送と他人運送 ② 国際輸送手段			
	2. 在庫管理	(1) 在庫管理の目的	イ 顧客サービス ロ 効率化	① 顧客サービスのための在庫 ② 顧客サービスのポイント ③ 在庫は必要悪 ④ 適正な在庫維持 ⑤ 情報と現品の一致		
		(2) 在庫管理手法	イ 入出庫および在庫管理 ロ 在庫管理システム	① 入庫管理 ② 保管管理 ③ 出庫管理		
		(3) 適正在庫量の決定	イ 適正在庫量の決定要素 ロ 安全在庫と補充量の考え方	① 需要量の平均値と需要量のばらつき ② 在庫補充のリードタイム ③ 在庫補充の頻度 ④ その他 ⑤ 安全在庫の考え方 ⑥ 補充量の考え方		
		(4) 在庫分析	イ 在庫保有量の評価指標 ロ 在庫分析の代表的手法とその活用	① 在庫回転率(月数) ② 在庫回転率 ③ その他の指標 ④ ABC(パレート)分析 ⑤ 流動数回線 ⑥ 在庫鮮度分析		
		(5) 棚卸	イ 棚卸の意義 ロ 棚卸の方法	① 情報一致 ② 棚卸差異の主な原因 ③ 在庫の差正および対策 ④ 帳簿棚卸 ⑤ 実地棚卸(現品棚卸)		
		3. 物流コスト管理	(1) 物流コスト管理の基礎知識	イ 物流コストの特徴と分類 ロ 財務会計における物流コスト把握の問題点 ハ 官庁による物流コスト計算マニュアルの存在とその内容 ニ 公的団体における物流コスト調査	① 物流コストの特徴 ② 財務会計と管理会計 ③ 物流コストと財務会計 ④ 日本における物流コスト調査 ⑤ 海外における物流コスト調査	
			(2) 委託料金の概要と運賃料金の体系	イ 物流委託料金の概要 ロ トラックの運賃料体系 ハ 鉄道コンテナ運賃料体系 ニ 倉庫料体系 ホ 委託料決定の留意事項	① 委託料金の概要 ② 委託料金の算出・請求方法とコスト管理の関係 ③ 運賃料金の体系 ④ 運賃制・荷役補充義務 ⑤ 鉄道運賃料 ⑥ 鉄道利用運送事業コンテナ運賃料 ⑦ 普通倉庫の保管料 ⑧ 普通倉庫の寄送料 ⑨ 上層・保管庫の保管料 ⑩ 荷主(委託者)と倉庫業者の契約料	
			(3) 物流コストの計算方法	イ 財務会計における費用と物流コストの関係 ロ 物流原価計算 ハ 輸送原価の内容と計算方法	① 損益計算書と物流コスト ② 損益計算書と人件費 ③ 社内金利 ④ 物流コストの原価明細 ⑤ 物流コストの算出 ⑥ トラック輸送原価の構成	
			(4) 物流におけるコストトレードオフ	イ サービスレベルと物流コスト ロ 在庫にかかるとコスト ハ 環境対策と物流コスト ニ その他のトレードオフ	① サービスレベルとコストの関係 ② サービスレベルの把握と倉庫業者の見直し ③ 倉庫主に起因するサービスの把握と管理(納品先での待機・付帯作業等のサービス等) ④ 在庫問題とコストトレードオフ ⑤ 在庫保有コスト ⑥ 品切れによるコスト ⑦ コストトレードオフへの影響	
			Ⅲ. ロジスティクス情報システムの概要	1. ロジスティクス情報システムの基礎	(1) ロジスティクス情報システムの目的と特徴	イ ロジスティクス情報システムの定義 ロ ロジスティクス情報システムの目的 ハ ロジスティクス情報システムの特徴
(2) 基幹システムとロジスティクス情報システムとの関連	イ 基幹システムとERP ロ ロジスティクス情報システムの体系				① 計画系 ② 基幹系 ③ 実行系	
(3) 物流情報システム設計の基本	イ 物流情報システムの設計ステップ ロ 物流情報システムの設計ポイントと留意点					
(4) 自動認識技術の種類と特徴	イ バーコード ロ 2次元シンボル ハ RFID				① バーコードの特徴と課題 ② JANコード ③ ITF ④ GS1-128 ⑤ 2次元シンボルの特徴と課題 ⑥ 物流における活用事例 ⑦ RFIDの特徴と課題 ⑧ ロジスティクスにおけるRFID活用事例	
2. 業務別ロジスティクス情報システム	(1) 受注処理システムの基礎知識				イ オーダーエントリーの種類と処理 ロ 出荷情報処理 ハ オーダー管理 ニ 発注の種類の流れ	
	(2) 発注処理システムの基礎知識				イ 発注におけるICT活用 ロ 発注の種類 ハ 発注処理の流れ	
	(3) 倉庫管理システムの基礎知識	イ 在庫受け払い処理 ロ ピッキング・仕分け処理 ハ 作業管理			① 入荷処理 ② 出荷処理 ③ 返品処理と棚卸処理 ④ ピッキング処理 ⑤ 流通加工処理 ⑥ 仕分け処理	
	(4) 輸配送管理システムの基礎知識	イ 輸配送管理システムの構成 ロ 配送・配車計画 ハ 運行管理 ニ 荷物追跡管理			① 配送・配車計画 ② 荷物追跡システム	